

2020年9月7日  
環境社会配慮助言委員会委員長 原嶋 洋平  
担当ワーキンググループ主査 寺原 譲治

インド国デリー高速輸送システムフェーズ4（有償資金協力）  
環境レビューに対する助言

**助言案検討の経緯**

ワーキンググループ会合

- ・日時：2020年8月31日（月）14:00～18:17
- ・場所：オンライン会議（Teams）
- ・ワーキンググループ委員：石田委員、作本委員、寺原委員、原嶋委員、米田委員
- ・議題：インド国デリー高速輸送システムフェーズ4（有償資金協力）に係る環境レビューについての助言案作成
- ・配付資料：
  - 1) EIA Phase-IV Priority Corridors June 2020 Addendum (2020.AUG)
  - 2) EIA Phase-IV Priority Corridors June 2020 Final (08.06.2020)
  - 3) SIA Addendum Ch.6 Public Consultation -SIA2020（2020.AUG）
  - 4) SIA Phase-IV Priority Corridors June 2020 (08.06.2020)
  - 5) 【環境レビュー方針】インド国デリー高速輸送システムフェーズ4（有償資金協力）
  - 6) 回答表及び別添説明資料
- ・適用ガイドライン：国際協力機構環境社会配慮ガイドライン（2010年4月）

全体会合（第116回委員会）

- ・日時：2020年9月7日（月）14:01～17:22
- ・場所：JICA本部（1階111会議室）およびオンライン会議

上記の会合にて助言を確定した。

## **助言**

### **全体事項**

1. 45 駅舎の建設による環境社会影響については、駅舎がデザインビルドで建設がなされていくことを踏まえ、現時点で把握できる重大かつ共通の環境社会影響について確認し、これに対する緩和策を特定し、その緩和策が適切に実施されるよう実施機関に申し入れること。

### **環境配慮**

2. 振動の構造的な緩和策について、適切な方策の可能性を検討すること。また、振動により影響を受ける sensitive receptors の特定が十分であるか確認すること。
3. ワイルドライフサンクチュアリの ESZ（エコセンシティブゾーン・緩衝地帯）における本事業の実施が、サンクチュアリの生態系に与える影響の有無を評価するために、ESZ の現状(ベースライン)を調査するとともに、工事中、供用後の ESZ(特にシャフトの昇降口周辺)への影響の有無を把握するモニタリングを実施するよう実施機関に申し入れること。さらにその結果、重大な影響が生じると認識される場合には適切な対応の検討がなされるための、必要なアクションを行うよう実施機関に申し入れること。

以上